

伝説の  
ホスト漫画『**夜王**』**井上紀良**氏が作画

**ローランドの漫画が誕生！『ローランド・ゼロ』12/18発売**

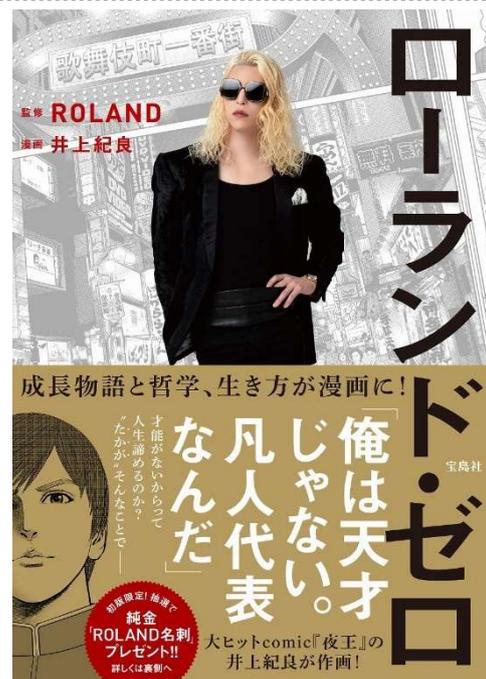
学生時代の挫折、ホストの新人時代・・・ローランドの哲学・生き方を学べる一冊

株式会社宝島社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:蓮見清一)は、書籍『ローランド・ゼロ』を2020年12月18日(金)に発売します。

本書は、ホストの帝王と呼ばれるまでになったROLAND(ローランド)の学生時代の挫折や、ホスト業界を志して経験した下積み時代を描いた成長物語です。少年篇・挑戦篇・覚醒篇の3章構成で、各章の最後にはROLAND本人が当時を振り返り、テキストで解説をしています。歌舞伎町ナンバーワンという成功の裏には、どんなに過酷な状況でもブレない強い自分を持ち、必死に這い上がってきたROLANDの姿があり、彼の哲学や生き方を学ぶことができます。

作画は、ROLANDが小学生のときに出会い、ホストという仕事を選ぶきっかけとなったホスト漫画の金字塔『夜王』の井上紀良氏です。『夜王』の登場人物の一人である「聖也」はROLANDが唯一インスパイアされたというホストで、今回の『ローランド・ゼロ』にも、そんな出会いをイメージしたシーンが出てきます。少年時代のROLANDも憧れる伝説のホスト——10年越しに実現したというROLAND念願のコラボは必見です。

『ローランド・ゼロ』 ROLAND(監修)、井上紀良(漫画)  
発売日:2020年12月18日 定価:本体900円+税



これから贈る『ローランド・ゼロ』は、単なる漫画作品でもなく、かといって自伝でもない、新たなスタイルの物語です。焦燥感と挫折にまみれた高校時代、新宿の厳しい世界にもまれた新人時代、そして、簡単に成功したと思われているローランド時代にあった大事件の数々……。  
ホストの帝王と呼ばれる前の自分はたくさんの凡人の中の一人だった。そんな自分が、どうやって成功の光る道を見つけたのか。この物語の中で感じ取ってもらい一人でも多くの人の人生を明るくできたら嬉しいな。

ローランド

初版限定！プレゼントキャンペーン

本書の帯に付いてくる応募券を切り取って応募すると本書オリジナル「ROLAND名刺」が抽選で合計210名様に当たります。

【賞品】

- A賞: 純金「ROLAND名刺」…10名
- B賞: プラチナ箔「ROLAND名刺」…50名
- C賞: 金箔「ROLAND名刺」…50名
- D賞: 超豪華ホログラム「ROLAND名刺」…100名

【応募締め切り】

第1回:2021年1月31日/第2回:2021年3月31日  
第3回:2021年6月30日 ※詳しい応募方法は近日告知します

▼ROLANDのファンクラブ公式SNSで情報を配信中！特製サイン色紙のプレゼントも！

【Twitter】[https://twitter.com/ROLAND\\_fanclub](https://twitter.com/ROLAND_fanclub)

【Instagram】[https://www.instagram.com/roland\\_official\\_fanclub/](https://www.instagram.com/roland_official_fanclub/)



もちろん止められた  
オレがホストになるって言ったら  
10人中10人が止めてきた



でもそれに従っても  
誰も責任は取らない…  
信じられるのも  
責任を取れるのも  
自分だけだから

全然！  
だってオレは多数決が  
正しいなんて思わない  
相談してないのに  
我が物顔で意見を言う

それでも決意は  
揺るぎませんでしたか？



オレは歌舞伎で、ここが  
任務の最前線だ。お前も  
伝説のナンバーになる

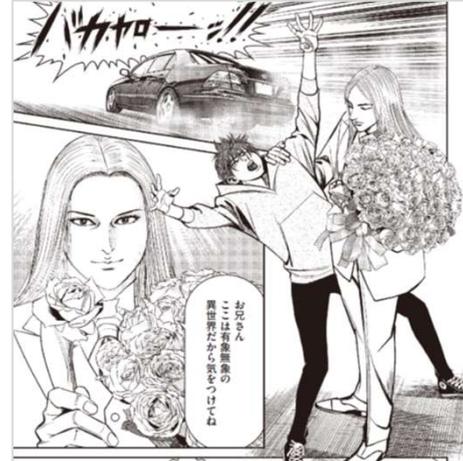


オレたちは笑を食けど  
他の客には  
言わないほうがいいよ  
突笑されるだけだから



それはわかってるよ  
それでも…

歌舞伎町がオレを  
呼んでいる気がするんだ



お兄さん  
ここは有象無象の  
異世界だから気を付けてね



でも  
夢を断られる町だから  
嬉しいならいい  
ほしいんだ  
どうも  
こんな人生って？

●挫折がなければハングリーな気持ちが生まれなかった

「ちよっと素敵な勘違い」でホストになり、ナンパワンを達成して、今じゃ実業家として数々のビジネスまでこなしている。ホストを引退したからの現在の僕を見て、本当に色々やっていると驚く人が多い。大変じゃないですか？聞かれることも多い。これだけ酸いも甘いも経験してきた僕にとっての、やっぱり永遠の厨二病だと思。

それでもはや、一つの才能なんですよ。「ウルトラマンになりたい」。なんて子供の素敵な勘違いも、やがて成長すると、自分はウルトラマンになれるんじゃないのかなってまっ。でも、大人になってまだまだ「俺、ウルトラマンになれるんじゃないのかな」って勘違いを続けられるって、素敵なことじゃない？自分を信じて、勘違いを持ち続けていられる強さや幸せを感じてもらいたる嬉しいな。

勘違いでできるって思えば、実力をつけようとするし、自分にはできないからなんて思ったりする人は、厨二病は大人になるために必要する人が多いけれど、あえて続けるほうが他の人は違う自分になれるはず。

僕はサツカ選手としての1回目の挫折が悔しすぎて、それでホストになった。サツカを続ける同期と一緒にブレイクしたことがある友人がテレビに出ているのを見て、「こいつらが目の目を浴びて、どうして自分じゃないんだ」と、自身を好きになれなくて苦しんだ。多かれ少なかれ、そういう気持ちやモヤモヤを抱えている人は多いんじゃないかな？

でも、野望とか憧れでホストになったんじゃない。反骨心や悔しき、怒り。「いつか見返してやる」と、こいつらよりすごいになりたい」というハングリーな気持ち。そんな気持ちがあったら、さっさと歌舞伎町から逃げたいと思う。だから成長しようとする努力が続けることができた。最初からホストになっていたら、僕はここまでにはならなかったと思う。

繰り返すようだけれど、そんな原動力があったからローランドはここにいるんです。

contents

- 1章 少年篇
- 17歳のローランドへ
- 2章 挑戦篇
- 20歳のとき
- 3章 覚醒篇
- 素敵な勘違いがローランドを生んだ